

カリキュラム編成表(授業科目等の概要)

		令和2年度 商業実務専門課程 (ホテル・ブライダル学科)												
専門・一般	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法			
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	
専門	ホテルマンとして必要な知識と技術を習得する	1	前期	専門	○			ホテル概論ⅠA	ホテルに関する基本的知識を習得し、体系的にホテルを理解することを目的とする	30	2	○		
		2	前期	専門	○			ホテル概論ⅡA	ホテルに関する応用的知識を習得し、経営の立場からホテルを理解することを目的とする	30	2	○		
		2	後期	専門	○			ホテル概論ⅡB	ホテルに関する応用的知識を習得し、経営の立場からホテルを理解することを目的とする	30	2	○		
		1	前期	専門	○			レストランオペレーションⅠA	ホテルのレストラン部門における業務を実践的に学ぶことを目的とする	30	1		○	
		2	前期	専門	○			レストランオペレーションⅡA	ホテルのレストラン部門における業務を実践的に学ぶことを目的とする	60	2		○	
		2	後期	専門	○			レストランオペレーションⅡB	ホテルのレストラン部門における業務を実践的に学ぶことを目的とする	30	1		○	
		1	前期	専門	○			ブライダル総論ⅠA	婚礼の歴史から最近の婚礼のトレンドまでを学び、プランナーとしての基本的知識と技術を習得する	30	1		○	
		2	前期	専門	○			ブライダル総論ⅡA	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	60	2		○	
		2	後期	専門	○			ブライダル総論ⅡB	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	90	3		○	
インバウンド対応のできる英語力を習得する	1	前期	専門		○		TOEICⅠA(H)	海外で英語を活用したコミュニケーションがとれることを目的とする	150	5		○		
	2	前期	専門		○		TOEICⅡA(H)	英会話能力の向上を目指してTOEIC成績アップを目指す	150	5		○		
	2	後期	専門		○		TOEICⅡB(H)	英会話能力の向上を目指してTOEIC成績アップを目指す	150	5		○		
	1	前期	専門		○		TOEICⅠA(B)	英会話能力の向上を目指してTOEIC成績アップを目指す	30	1		○		
	1	後期	専門		○		TOEICⅠB(B)	英会話能力の向上を目指してTOEIC成績アップを目指す	30	1		○		
	2	前期	専門		○		TOEICⅡA(B)	英会話能力の向上を目指してTOEIC成績アップを目指す	60	2		○		
	2	後期	専門		○		TOEICⅡB(B)	英会話能力の向上を目指してTOEIC成績アップを目指す	60	2		○		
サービス業に求められる知識と技能を習得する	1	前期	専門	○			サービス接遇ⅠA	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○		
	2	前期	専門	○			サービス接遇ⅡA	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○		
	2	後期	専門	○			サービス接遇ⅡB	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○		
	1	前期	専門		○		フラワーアレンジメントⅠA(B)	婚礼に必要な知識としてブライダルブーケの基本的テクニックを習得する	30	1		○		
	2	後期	専門		○		フラワーアレンジメントⅡB(B)	婚礼に必要な知識としてブライダルブーケの応用的テクニックを習得する	30	1		○		
	1	後期	専門		○		ブライダルビューティⅠB(B)	婚礼に必要な知識としてブライダルヘアの基本的知識を習得する	30	1		○		
	2	後期	専門		○		ブライダルビューティⅡB(B)	婚礼に必要な知識としてブライダルメイクの基本的知識を習得する	30	1		○		
	1	前期	専門	○			プレゼンテーションⅠA	聞き手分析を元にした効果的な話し方や伝え方、スライド作成の手法を、実演を行いながら学んでいきます。企画提案を初めとする伝達能力全般の向上を目的とする	30	1		○		
	2	前期	専門	○			プレゼンテーションⅡA	聞き手分析を元にした効果的な話し方や伝え方、スライド作成の手法を、実演を行いながら学んでいきます。企画提案を初めとする伝達能力全般の向上を目的とする	30	1		○		
	1	前期	専門	○			ビジネスIT技術ⅠA	各職種において文書を作成するスキルは、必須である。本科目では、一般的ワープロソフトである「WORD」を使用し、様々な文書を速く正確に作成するスキルを学ぶ。	30	1		○		
	2	前期	専門	○			ビジネスIT技術ⅡA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1		○		
	1	前期	専門	○			異文化コミュニケーションⅠA	インバウンド対応に必要なコミュニケーション能力の向上と異文化の理解を目的とする	30	1		○		
	1	前期	専門	○			観光マーケティングⅠA	観光についてのマーケティングやイノベーションを学ぶことを目的とする	30	1		○		
	2	前期	専門		○		観光マーケティングⅡA(H)	カナダワーキングホリデープログラム帰国後、新たな観光プランを創出することを目的とする	30	2	○			
	1	前期	専門	○			富山学ⅠA	富山県の観光を学ぶことを目的とする	30	1		○		

	1	前期	専門		○	色彩ⅠA (B)	色がもたらす影響や力、そして活用術を学び、実践できることを目指す	30	1		○			
	1	後期	専門		○	色彩ⅠB (B)	色がもたらす影響や力、そして活用術を学び、実践できることを目指す	30	1		○			
	2	前期	専門		○	色彩ⅡA (B)	色がもたらす影響や力、そして活用術を学び、実践できることを目指す	30	1		○			
	2	後期	専門		○	色彩ⅡB (B)	色がもたらす影響や力、そして活用術を学び、実践できることを目指す	30	1		○			
	1	前期	専門		○	ウエディングスビューティフルⅠA (B)	世界の婚礼の歴史から現代の婚礼まで、幅広い視点から婚礼演出を学ぶ	60	2		○			
	1	後期	専門		○	ウエディングスビューティフルⅠB (B)	世界の婚礼の歴史から現代の婚礼まで、幅広い視点から婚礼演出を学ぶ	60	2		○			
	1	前期	一般	○		NIBIA	新聞を通し、地域の知識を学ぶと共に、読解力、思考力、プレゼンカ、グループ討議力や、社会性、創造性、国際性を身に付ける。	30	1		○			
	2	前期	一般	○		NIBIIA	新聞を通し、地域の知識を学ぶと共に、読解力、思考力、プレゼンカ、グループ討議力や、社会性、創造性、国際性を身に付ける。	30	1		○			
	1	後期	一般		○	表現力ⅠA(B)	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○			
	2	後期	一般	○		表現力ⅡA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○			
現場力・実践力を身に付ける	1	後期	専門		○	インターンシップⅠB (H)	海外にて実践的な英語の活用とマーケティング、イノベーションについて学ぶことを目的とする	450	10		○			
	1	後期	専門		○	インターンシップⅠB (B)	授業で学んだホテルの知識やブライダルの知識を確認することを目的に現場で実践躬行することを目的とする	180	4		○			
	2	前期	専門		○	インターンシップⅡA (B)	授業で学んだホテルの知識やブライダルの知識を確認することを目的に現場で実践躬行することを目的とする	180	4		○			
合計									44	科目	1710	単位時間	56	単位

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 56単位取得 GPA 2.0以上 必修科目を取得していること (H), (B) どちらかの選択必修科目を全て取得していること		1学年の学期区分	2 期
		1学期の授業期間	15 週

科目名	ホテル概論 I A						学期	前 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
関係実務等	平成9年～26年公立学校共済組合パレプラン高志会館 業務課(テーブルマナー講師・宴会レストランサービス・婚礼チーフ)・営業課(ブライダルプランナー・フロント業務・宿泊販売・営業・企画運営)にて勤務								
授業内容	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史(外国、日本)、種類、社会的役割、構成内容(部門別)、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得								
学習目的	ホテル産業の基礎的知識を学習する								
学習目標	今後さらにグローバル化する地域、社会におけるホテル産業の重要性とホテルの宿泊、料飲、宴会、調理各部門(すなわち営業部門)を具体的に理解する								
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	第1章 ホテルの基礎 ホテルとは	【事前】	ホテル産業について予習						
		【事後】	ホテル調査						
2	第1章 ホテルの基礎 欧米の歴史	【事前】	欧米のホテルの歴史について						
		【事後】	ホテル調査のレポート提出						
3	第1章 ホテルの基礎 日本の発展史	【事前】	日本のホテル発展史						
		【事後】	課題提出						
4	第1章 ホテルの基礎 部門別機能 ホテルの組織、サービスの基本	【事前】	サービスの基本						
		【事後】	検定試験問題集による小テスト						
5	第1章 ホテルの基礎 部門別機能 ホテルの組織、関連法規	【事前】	ホテルの組織について						
		【事後】	ホテル調査						
6	第1章 ホテルの基礎 将来展望 今後の課題 トレンド調査	【事前】	トレンド調査						
		【事後】	課題提出						
7	第1章 ホテルの基礎 国際儀礼の基本	【事前】	プロトコール						
		【事後】	課題提出						
8	第1章 ホテルの基礎 ホスピタリティマインド	【事前】	ホテル調査						
		【事後】	レポート提出						
9	第1章 ホテルの基礎 ホテル関連知識	【事前】	第1章ホテルの基礎 まとめ						
		【事後】	検定試験問題集による小テスト						
10	第2章 宿泊部門の業務 宿泊部門の概要	【事前】	宿泊部門の概要						
		【事後】	課題提出						
11	第2章 宿泊部門の業務 宿泊商品の特性	【事前】	宿泊部門の特性						
		【事後】	課題提出						
12	第2章 宿泊部門の業務 組織と業務役割	【事前】	ホテル調査						
		【事後】	レポート提出						
13	第2章 宿泊部門の業務 宿泊商品の基本知識	【事前】	宿泊商品						
		【事後】	検定試験問題集による小テスト						
14	第2章 宿泊部門の業務 担当者業務	【事前】	第2章宿泊部門 まとめ						
		【事後】	検定試験問題集による小テスト						
15	第2章 宿泊部門の業務 まとめ	【事前】	第1章・2書のまとめ						
		【事後】	前期期末試験						
評価基準	評価項目/割合		評価内容						
	1. 課題	30 %	ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出						
	2. 授業姿勢	30 %	集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視(私語、居眠り、姿勢(たとえば見えないと思って靴を脱いだり、脚を組んだりした緊張のない姿勢は失格)などを重視						
	3. テストその他	40 %	筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	校外実地見学・研修等を経験(見る・聞く・行う)することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。そのことを踏まえてホテルコースは2年次11月後半に実施予定の「ホテルビジネス検定試験・ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。企業連携を通して、企画提案や商品開発などの実践を行う。								

科目名	ホテル概論ⅡA						学期	前期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
関係実務等	平成9年～26年公立学校共済組合パレプラン高志会館 業務課(テーブルマナー講師・宴会レストランサービス・婚礼チーフ)・営業課(ブライダルプランナー・フロント業務・宿泊販売・営業・企画運営)にて勤務								
授業内容	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史(外国、日本)、種類、社会的役割、構成内容(部門別)、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得								
学習目的	ホテル産業の基礎的知識を学習する								
学習目標	ホテルに関する基礎知識を習得し、学期後半に「ホテルビジネス実務検定ベーシック2級」に合格する								
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編、練習問題集700選								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の特性	【事前】	料飲部門の特性						
		【事後】	課題提出						
2	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の組織	【事前】	ホテル・旅館調査						
		【事後】	レポート提出						
3	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の業務役割	【事前】	料飲部門の基本知識						
		【事後】	検定試験問題集による小テスト						
4	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の基本知識	【事前】	料飲部門の業務						
		【事後】	課題提出						
5	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の担当業務	【事前】	料飲部門の実務						
		【事後】	ホテル・旅館調査						
6	第3章 料飲部門の業務 料飲実務の実務	【事前】	料飲部門の実務						
		【事後】	小テスト						
7	第3章 料飲部門の業務 料飲実務の実務	【事前】	料飲部門の実務						
		【事後】	レポート提出						
8	第3章 料飲部門の業務 第3章のまとめ	【事前】	料飲部門のまとめ						
		【事後】	第3章テスト						
9	第4章 宴会部門の業務 宴会商品の特性	【事前】	宴会部門の特性						
		【事後】	課題提出						
10	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の組織	【事前】	宴会部門の組織と業務役割						
		【事後】	小テスト						
11	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の業務	【事前】	ホテル・旅館調査						
		【事後】	課題提出						
12	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の実務	【事前】	宴会部門の組織と業務役割						
		【事後】	小テスト						
13	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の実務	【事前】	宴会部門の実務						
		【事後】	課題提出						
14	第4章 宴会部門の業務 まとめ・宴会部門の実務	【事前】	宴会部門の担当者実務						
		【事後】	小テスト						
15	第4章 宴会部門の業務 まとめ	【事前】	第3章・4章まとめ						
		【事後】							
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 30%	ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出							
	2. 授業姿勢 30%	集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視＝私語、居眠り、姿勢(たとえば見えないと思って靴を脱いだり、脚を組んだりした緊張のない姿勢は失格)などを重視							
	3. テストその他 40%	筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	校外実地見学・研修等を経験(見る・聞く・行う)することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。そのことを踏まえて11月後半に実施予定の「ホテルビジネス検定試験:ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。								

科目名	ホテル概論ⅡB						学期	後 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
関係実務等	平成9年～26年公立学校共済組合パレプラン高志会館 業務課(テーブルマナー講師・宴会レストランサービス・婚礼チーフ)・営業課(ブライダルプランナー・フロント業務・宿泊販売・営業・企画運営)にて勤務								
授業内容	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史(外国、日本)、種類、社会的役割、構成内容(部門別)、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得								
学習目的	ホテル産業の基礎的知識を学習する								
学習目標	ホテルに関する基礎知識を習得し、学期後半に「ホテルビジネス実務検定ベーシック2級」に合格する								
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	第5章 調理部門の業務 調理部門の特性 制約要件からくる特性					【事前】	調理部門の特性		
						【事後】	課題提出		
2	第5章 調理部門の業務 調理部門の特性 メニュー開発・経費から見たの特性					【事前】	ホテル・旅館調査		
						【事後】	レポート提出		
3	第5章 調理部門の業務 調理部門の組織と業務役割 調理部門の組織					【事前】	調理部門の組織		
						【事後】	小テスト		
4	第5章 調理部門の業務 調理部門の組織と業務役割 料理部門の業務					【事前】	メイン・宴会・レストラン・製菓の各業務		
						【事後】	課題提出		
5	第5章 調理部門の業務 調理部門の実務 調理の種類・施設・設備・備品の知識					【事前】	ホテル・旅館調査		
						【事後】	レポート提出		
6	第5章 調理部門の業務 調理部門の実務 西洋料理の基礎知識					【事前】	西洋料理の基礎知識		
						【事後】	小テスト		
7	第5章 調理部門の業務 担当業務 西洋料理の主な担当者業務					【事前】	西洋料理の主な担当者業務		
						【事後】	課題提出		
8	第5章 調理部門の業務 担当業務 西洋料理の主な担当者業務					【事前】	西洋料理の主な担当者業務		
						【事後】	小テスト		
9	第5章 調理部門の業務 担当業務 西洋料理の主な担当者業務					【事前】	西洋料理の主な担当者業務		
						【事後】	第5章 調理部門のまとめ		
10	第5章 調理部門のまとめ					【事前】	第5章の復習		
						【事後】	小テスト		
11	第1章・2章の復習					【事前】	練習問題700選		
						【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習		
12	第3章・4章の復習					【事前】	練習問題700選		
						【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習		
13	検定試験対策 1章・2章					【事前】	練習問題700選		
						【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習		
14	検定試験対策 3章・4章					【事前】	練習問題700選		
						【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習		
15	検定試験対策 5章					【事前】	復習問題		
						【事後】			
評価基準	評価項目/割合					評価内容			
	1. 課題 30%		ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出						
	2. 授業姿勢 30%		集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視＝私語、居眠り、姿勢(たとえば見えないと思って靴を脱いだり、脚を組んだりした緊張のない姿勢は失格)などを重視						
	3. テストその他 40%		筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	校外実地見学・研修等を経験(見る・聞く・行う)することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。そのことを踏まえて11月後半に実施予定の「ホテルビジネス検定試験:ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。								

科目名	レストランオペレーション I A						学期	前	期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
関係実務等	平成9年～26年公立学校共済組合パレプラン高志会館 業務課(テーブルマナー講師・宴会レストランサービス・婚礼チーフ)・営業課(ブライダルプランナー・フロント業務・宿泊販売・営業・企画運営)にて勤務								
授業内容	レストラン運営に必要なサービス法や管理業務、クレーム対応、安全衛生などを習得する								
学習目的	マーケティングの重要性の理解とレストランの企画・運営が出来る								
学習目標	ランチイベントの企画・運営								
使用テキスト	西洋料理料飲接客サービス技法								
週数	授業計画								
1	接客の基本 レストランサービス要員に求められる資質 ・身体的資質 ・知的資質								
2	接客の基本 レストランサービス要員に求められる資質 ・精神性と道徳性 ・プロフェッショナルとしての資質								
3	接客の基本 資質を生かす具体的行動指針 ・協調性 ・品格のある行動								
4	接客の基本 職務上の容姿、服装 ・制服 ・身だしなみ								
5	接客の基本 ・レストランの要員とそれぞれの任務 ・各種サービス準備の作業 ・施設の整備								
6	接客の基本 接客動作 ・諸準備を完了してお客様を迎える ・接客にあたって								
7	什器備品 ・什器備品の種類、名称、用途								
8	食器の取扱いと管理 ・取扱い上の留意点								
9	レストランの管理業務 ・オープン前の準備 ・クローズ後の業務 客席案内								
10	メニュー作成 ・メニューの構成								
11	ランチイベント								
12	ランチイベント								
13	ランチイベント								
14	ランチイベント								
15	ランチイベント振り返り								
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	30 %		ランチ営業に向けての準備資料、アイデア等からの企画書、提案書から評価する					
	2. 授業姿勢	30 %		授業態度、積極性・協調性などから評価する					
	3. テストその他	40 %		レポート、テスト結果等を評価する					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	レストランオペレーションⅡA						学期	前	期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
関係実務等	平成9年～26年公立学校共済組合パレプラン高志会館 業務課(テーブルマナー講師・宴会レストランサービス・婚礼チーフ)・営業課(ブライダルプランナー・フロント業務・宿泊販売・営業・企画運営)にて勤務								
授業内容	レストラン運営に必要なサービス法や管理業務、クレーム対応、安全衛生などを習得する								
学習目的	マーケティングの重要性の理解とレストランの企画・運営が出来る								
学習目標	ランチイベントの企画・運営								
使用テキスト	西洋料理料飲接客サービス技法								
週数	授業計画								
1	レストラン運営 ・商品化計画								
2	レストラン運営 ・セールス								
3	レストラン運営 ・販売促進、広報								
4	テーブル上での事故対処 救護方法								
5	注文 ・注文の受け方 ・販売促進								
6	料理の運搬 ・食器類の運搬及び持ち方 ・料理の運搬及び持ち方 ・歩行動作								
7	テーブルサービス ・料理、飲物に応じたテーブルサービスの仕方								
8	食器類の片付け方法 ・皿とナイフ、フォーク ・グラス								
9	テーブル上での事故対処 救護方法								
10	サービス実技トレーニング シミュレーション								
11	ランチイベント								
12	ランチイベント								
13	ランチイベント								
14	ランチイベント								
15	ランチイベント振り返り								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	ランチ営業に向けての準備資料、アイデア等からの企画書、提案書から評価する						
	2. 授業姿勢	30 %	授業態度、積極性・協調性などから評価する						
	3. テストその他	40 %	レポート、テスト結果等を評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他									

科目名	レストランオペレーションⅡB						学期	後 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	マーケティングの重要性の理解とレストランの企画・運営が出来る								
授業内容	レストラン運営に必要なサービス法や管理業務、クレーム対応、安全衛生などを習得する								
学習目標	地域の方々へのランチイベントの企画・運営								
使用テキスト	西洋料理料飲接客サービス技法								
週数	授業計画								
1	メニュー考案□ 市場調査□ コンセプト								
2	メニュー考案□ 提案書作成								
3	提案書の発表								
4	レストラン運営□ 商品化計画								
5	苦情処理□ 料飲接客サービスにおける苦情処理								
6	苦情処理□ 受客の拒否□ スキッパーなど								
7	レストラン運営□ セールス□ 販売促進、広報								
8	サービス実技トレーニング□ ミュレーション								
9	サービス実技トレーニング□ ミュレーション								
10	ランチイベント リハーサル								
11	ランチイベント								
12	ランチイベント								
13	ランチイベント								
14	ランチイベント								
15	ランチイベント振返り								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	ランチ営業に向けての準備資料、アイデア等からの企画書、提案書から評価する						
	2. 授業姿勢	30 %	授業態度、積極性・協調性などから評価する						
	3. テストその他	40 %	レポート、テスト結果等を評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実施 予定・そ									

科目名	ブライダル総論 I A						学期	前	期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
関係実務等	平成9年～26年公立学校共済組合パレプラン高志会館 業務課(テーブルマナー講師・宴会レストランサービス・婚礼チーフ)・営業課(ブライダルプランナー・フロント業務・宿泊販売・営業・企画運営)にて勤務								
授業内容	ウェディングプランナーの役割、具体的業務内容、業務の流れなど仕事に携わるために必要な専門知識を、現場で実際に起こる事例を交え学ぶ								
学習目的	ウェディングプランナーとして必要な基礎知識を学習する								
学習目標	AWP検定に合格し、ブライダル業務全般を理解する								
使用テキスト	ウェディングプランナーテキスト								
週数	授業計画								
1	ヒューマン概論・歴史概論								
2	言語概論・プレゼンテーション								
3	接客概論・ロールプレイング								
4	実務概論								
5	タイムスケジュール・見積書								
6	テーブルプラン								
7	席次表と続柄								
8	オリジナルプラン作成								
9	オリジナルプラン提案								
10	クリエイティブ概論								
11	広告・企画概論								
12	経済概論								
13	披露宴の役割								
14	披露宴の役割								
15	模擬披露宴								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	実習課題の取り組み姿勢						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い						
	3. テストその他	40 %	期末テスト						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	ブライダル総論ⅡA						学期	前	期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
関係実務等	平成9年～26年公立学校共済組合パレプラン高志会館 業務課(テーブルマナー講師・宴会レストランサービス・婚礼チーフ)・営業課(ブライダルプランナー・フロント業務・宿泊販売・営業・企画運営)にて勤務								
授業内容	ウェディングプランナーの役割、具体的業務内容、業務の流れなど仕事に携わるために必要な専門知識を、現場で実際に起こる事例を交え学ぶ								
学習目的	実際の新郎新婦の結婚式をプロデュースすることで、ブライダル業界の仕組み、ブライダルプロデュースの一連の流れ、役割、理由を学習する								
学習目標	ブライダル業界の専門家達との仕事を通じたやり取りの中で、各業種、仕事への理解を深め、今後の進路選択の参考とすることが可能となる								
使用テキスト	ウェディングプランナーテキスト								
週数	授業計画								
1	ブライダルに関わる人々の役割								
2	ブライダルストーリー:集客・告知								
3	ブライダルストーリー:計画の基礎(マーケティング)								
4	ブライダルストーリー:ビジネスパートナー選定								
5	ブライダルストーリー:ブライダル現場における用語、必要知識の理解								
6	ブライダルストーリー:プランニング・コンセプトシート作成								
7	ブライダルストーリー:会場レイアウト・会場装飾プランニング								
8	ブライダルストーリー:コンセプトシートプレゼンテーション								
9	ブライダルストーリー:婚見積書の作成								
10	ブライダルストーリー:新規接客の基本・ロールプレイング								
11	ブライダルストーリー:パートナー選定、パートナーとのキックオフミーティング								
12	ブライダルストーリー:婚礼打合せ① 全体説明、見積り、招待状、各種手配確認								
13	ブライダルストーリー:婚礼打合せ後の業務① 招待状の発注、各種手配								
14	ブライダルストーリー:婚礼打合せ②の準備 コンセプトシート、プランニング基礎作成 料理、飲料、装花装飾、演出、写真、映像、引出物等								
15	ブライダルストーリー:婚礼打合せ後の業務② 書類作成、各種手配								
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	30 %		実際のお客様の一生に一度の結婚式を手掛けることへの責任、自身のモチベーション もっと素敵な結婚式にするための情報、企画、提案、実現力 華を吐く仕事におけるビジネス感覚					
	2. 授業姿勢	30 %		積極性・協調性・創造性・実現力・責任感・リーダーシップ・ドキュメント力					
	3. テストその他	40 %		授業内容に対するレポート ブライダルストーリーに向けての準備資料 授業以外におけるアイデア等からの企画書、提案書					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	ブライダル総論ⅡB						学期	後	期	期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	3	
関係実務等	平成9年～26年公立学校共済組合パレプラン高志会館 業務課(テーブルマナー講師・宴会レストランサービス・婚礼チーフ)・営業課(ブライダルプランナー・フロント業務・宿泊販売・営業・企画運営)にて勤務									
授業内容	ウェディングプランナーの役割、具体的業務内容、業務の流れなど仕事に携わるために必要な専門知識を、現場で実際に起こる事例を交え学ぶ									
学習目的	実際の新郎新婦の結婚式をプロデュースすることで、ブライダル業界の仕組み、ブライダルプロデュースの一連の流れ、役割、理由を学習する									
学習目標	ブライダル業界の専門家達との仕事を通じたやり取りの中で、各業種、仕事への理解を深め、今後の進路選択の参考とすることが可能となる									
使用テキスト	ウェディングプランナーテキスト									
週数	授業計画									
1	前期の振り返り									
2	ブライダルストーリー:ビジネスパートナーとの情報共有									
3	ブライダルストーリー:婚礼会場との打合せ、情報共有									
4	ブライダルストーリー:婚礼打合せ③の準備 最終版資料作成、手配先確認									
5	ブライダルストーリー:婚礼打合せ③ 司会打合せ、当日に向けての最終確認									
6	ブライダルストーリー:婚礼打合せ後の業務③ 書類作成、各種手配									
7	ブライダルストーリー:最終確認 パートナー個別最終打ち合わせ									
8	ブライダルストーリー:最終確認 リハーサル									
9	ブライダルストーリー:最終確認 会場・パートナー打合せ									
10	ブライダルストーリー:搬入、準備									
11	ブライダルストーリー:前日リハーサル・会場確認・手配物確認									
12	ブライダルストーリー:本番									
13	ブライダルストーリー:反省会 オペレーション、業績、改善案									
14	ブライダルストーリー:ビジネスパートナーとの反省会 次年度への引き継ぎ									
15	ブライダルストーリー:振り返りディスカッション									
評価基準	評価項目/割合		評価内容							
	1. 課題	30%	実際のお客様の一生に一度の結婚式を手掛けることへの責任、自身のモチベーション もっと素敵な結婚式にするための情報、企画、提案、実現力							
	2. 授業姿勢	30%	責任を伴った仕事におけるビジネス感覚 積極性・協調性・創造性・実現力・責任感・リーダーシップ・ドキュメント力							
	3. テストその他	40%	授業内容に対するレポート ブライダルストーリーに向けての準備資料 授業以外におけるアイデア等からの企画書、提案書							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	TOEIC I A					学期	前期
担当教員	松倉 基晴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修
						単位数	5
学習目的	9月からのカナダでのインターンシップに耐えられる英語コミュニケーション能力を修得し、2年次1月のTOEICで500点以上を点数する。						
授業内容	Online 英会話アプリ（レアジョブ）を活用したアウトプット型の演習						
学習目標	9月からのカナダでのインターンシップ現場で求められる英語コミュニケーション能力(読む・聞く・話すの3技能を重視)を修得する						
使用テキスト	Online 英会話アプリ（レアジョブ）内の教材を軸に、適宜、補助プリント等を使用する						
週数	授業計画						
1	- Orientation - Placement test: TOEIC Bridge - Questions and Answers in Conversation <All About Me> ※自分の好きなもの、毎日の習慣、好きな季節、家族、ペット、趣味、旅行、スポーツといったテーマを通して、会話に詰まることなく言葉のキャッチボールができるようになるための演習を行います。						
2	Starter Program(全 20 Lesson)のL1～L4+発音クリニック(全 20 Lesson)のL1～L4 【Can-Do】シンプルな質問に一問一答形式で回答できるようになる						
3	Starter Program(全 20 Lesson)のL5～L12+発音クリニック(全 20 Lesson)のL5～L12 ※ネイティブ講師とのOnline Lessonを円滑にするための表現①をマスターします 【Can-Do】基本的な挨拶や趣味、自分の地域・仕事などについて話すことができる						
4	Starter Program(全 20 Lesson)のL13～L20+発音クリニック(全 20 Lesson)のL13～L20 ※ネイティブ講師とのOnline Lessonを円滑にするための表現②をマスターします 【Can-Do】Online Lesson 中に 講師が Chatbox に入力した内容を理解することができ、Lesson 内容への要望を講師に伝えることができる						
5	Practical English / Level 3 (1) L 1 ～ L 4 【Can-Do】朝の日課・週末の予定について理解でき、買い物について話すことができる						
6	Practical English / Level 3 (2) L 5 ～ L 11 【Can-Do】テレビ番組・部活・ペット・映画の話について理解でき、話をするすることができる						
7	Practical English / Level 3 (3) L 12 ～ L 18 【Can-Do】音楽・読書・食生活や外見・容姿・運動習慣についての話を聞いて理解でき、話をするすることができる						
8	Practical English / Level 3 (4) L 19 ～ L 25 【Can-Do】食べ物・美容品・スキンケア製品についての話を聞いて理解でき、話をするすることができる						
9	Practical English / Level 3 (5) L 25 ～ L 31 【Can-Do】若く見える秘訣・運動習慣についての話を聞いて理解でき、話をするすることができる						
10	Practical English / Level 3 (6) L 32 ～ L 38 【Can-Do】空港やお土産、天気予報、ツアーについての話を聞いて理解でき、話をするすることができる						
11	Practical English / Level 3 (7) L 32 ～ L 38 【Can-Do】空港やお土産についての話を聞いて理解でき、話をするすることができる						
12	Practical English / Level 4 (1) L 1 ～ L 10 【Can-Do】日常的な話題(※)について質問されたとき、ある程度の長さの会話ができる ※近所の人、デート、家族など						
13	Practical English / Level 4 (2) L 11 ～ L 20 【Can-Do】日常的な話題(※)について質問されたとき、ある程度の長さの会話ができる ※買い物、ファッション、レストランなど						
14	Practical English / Level 4 (3) L 21 ～ L 30 【Can-Do】日常的な話題(※)について質問されたとき、ある程度の長さの会話ができる ※ファン、映画、ゲーセン、遊園地、カフェなど						
15	Practical English / Level 4 (4) L 31 ～ L 40 【Can-Do】日常的な話題(※)について質問されたとき、ある程度の長さの会話ができる ※天気、旅行、季節行事など						
	評価項目/割合		評価内容				
評価基礎	1. 課題	40 %	オンライン・英会話アプリ(レアジョブ英会話)におけるネイティブ講師との Online Lesson への取り組みを『レッスン履歴』により評価します				
	2. 授業姿勢	30 %	オンライン・英会話アプリ (レアジョブ英会話) における自主的な進捗管理します				
	3. テスト	30 %	中間・期末試験は行わず、毎月末に行うReview Quiz により、採点・評価します				
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
外授業実施	上に示してあるのは、あくまでも『モデル・プラン』であり、レベルや内容、レッスン進捗のスピードは、自分自身に合うようにカスタマイズできます。自分に合った学習計画を立						

科目名	TOEIC II A					学期	前期
担当教員	松倉 基晴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修
						単位数	5
学習目的	中学～高校までで学習してきた内容のリハビリを行うとともに、アウトプットを重視したスキルアップをはかります。						
授業内容	発音・リズム・イントネーションを中心に音読やロールプレーを多用して発話スキルの向上を目指します。						
学習目標	TOEIC（990満点）で600点以上のスコアをめざし、また、日本人の苦手とする発音・リズムを磨きながらOUTPUT力を伸ばします。						
使用テキスト	アメリカ口語教本・中級用（研究社）の他、随時、授業の進行と学生の理解に合わせた教材やプリントを用意します。						
週数	授業計画						
1	Placement Test（TOEIC Bridge 模試）による実力測定とオリエンテーション						
2	Lesson 1 DIY Do it yourself ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
3	Lesson 2 The Pen is Mightier Than the Sword ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
4	Lesson 3: Coffee Time ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
5	Lesson 4: Greanpeace ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
6	Lesson 5: Charity Begins at Home ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
7	Lesson 6: On-line ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
8	Lesson 7: Working for the Times ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
9	Lesson 8: Modern Transportation ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
10	Lesson 9: Summer Vacations ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
11	Lesson 10: Man's Best Friend Goes to School ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
12	Lesson 11: The Downside of Hobbies ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
13	Lesson 12: Electronic Mail ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
14	Lesson 13: Learning from Mistakes ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
15	Lesson 14: Around the World with Mr. Saito ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
	評価項目/割合		評価内容				
評価基礎	1. 課題	30 %	テキスト中の指定する内容について、暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）、ロールプレイ をします。				
	2. 授業姿勢	40 %	出席と授業中の積極性を評価します。授業中の積極性としては、自発的な質問、自主的な取り組み姿勢、ミスを恐れない態度などです。				
	3. テスト	30 %	Review ごとに行うミニテストの点数を成績に反映します。				
課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
外授業実施	初回の授業でTOEIC Bridge の模擬試験を実施し、実力測定とします。中間および期末試験は実施しません。随時行うミニテスト結果や課題等の提出物の評価により、成績を決定し						

科目名	TOEIC II B					学期	後 期
担当教員	松倉 基晴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修
						単位数	5
学習目的	中学～高校までで学習してきた内容のリハビリを行うとともに、アウトプットを重視したスキルアップをはかります。						
授業内容	発音・リズム・イントネーションを中心に音読やロールプレーを多用して発話スキルの向上を目指します。						
学習目標	TOEIC（990満点）で700点以上のスコアをめざし、また、日本人の苦手とする発音・リズムを磨きながらOUTPUT力を伸ばします。						
使用テキスト	アメリカ口語教本・上級用（研究社）の他、随時、授業の進行と学生の理解に合わせた教材やプリントを用意します。						
週数	授業計画						
1	Lesson 1: The Big Top ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
2	Lesson 2: It's in the Bag ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
3	Lesson 3: Killing with Kindness ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
4	Lesson 4: University Life in America ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
5	Lesson 5: Zoos and People ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
6	Lesson 6: Philanthropy and the Volunteer Spirit ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
7	Lesson 7: Newton's Apple? ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
8	Lesson 8: Vacation Time ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
9	Lesson 9: Leg Pulling ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
10	Lesson 10: The United Stae's National Parks ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
11	Lesson 11: The Variety Show ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
12	Lesson 12: It's a Small World ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
13	Lesson 13: The Great Dreams of the 21st Century ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
14	Lesson 14: Halloween ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
15	Lesson 10: Do as the Romans Do ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）③イラストを活用した発話訓練						
	評価項目/割合		評価内容				
評価基礎	1. 課題	30 %	テキスト中の指定する内容について、暗唱、朗読などの Recitation（口頭発表）、ロールプレイ をします。				
	2. 授業姿勢	40 %	出席と授業中の積極性を評価します。授業中の積極性としては、自発的な質問、自主的な取り組み姿勢、ミスを恐れない態度などです。				
	3. テスト	30 %	Review ごとに行うミニテストの点数を成績に反映します。				
課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
外授業実施	初回の授業でTOEIC Bridgeの模擬試験を実施し、実力測定とします。中間および期末試験は実施しません。随時行うミニテスト結果や課題等の提出物の評価により、成績を決定し						

科目名	TOEIC I A					学期	前 期
担当教員	松倉 基晴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修
単位数	1						
学習目的	中学～高校までで学習してきた内容のリハビリを行うとともに、アウトプットを重視したスキルアップをはかります。						
授業内容	発音・リズム・イントネーションを中心に音読やロールプレーを多用して発話スキルの向上を目指します。						
学習目標	TOEIC Bridge (180満点) で90点以上のスコアをめざし、また、日本人の苦手とする発音・リズムをマスターします。						
使用テキスト	アメリカ口語教本・入門用(研究社)の他、随時、授業の進行と学生の理解に合わせた教材やプリントを用意します。						
週数	授業計画						
1	Placement Test (TOEIC Bridge 模試) による実力測定とオリエンテーション						
2	Lesson 1 How Do You Do? ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練						
3	Lesson 2 May I Ask a Question? ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練						
4	Review and extra activities						
5	Lesson 3: A Spoon and Some Ice Cream. ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練						
6	Lesson 4: What Did You Do Today? ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練						
7	Review and extra activities						
8	Lesson 5: What's Your Name? ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練						
9	Lesson 6: A Look into the Future ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練						
10	Review and extra activities						
11	Lesson 7: How Have You Been? ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練						
12	Lesson 8: Going to the Movies ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練						
13	Review and extra activities						
14	Lesson 9: I Wonder Who Invented Television ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練						
15	Lesson 10: I Wonder What He Bought ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練						
	評価項目/割合		評価内容				
評価基準	1. 課題	30 %	テキスト中の指定する内容について、暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表)、ロールプレイ をします。				
	2. 授業姿勢	40 %	出席と授業中の積極性を評価します。授業中の積極性としては、自発的な質問、自主的な取り組み姿勢、ミスを恐れない態度などです。				
	3. テスト	30 %	Review ごとに行うミニテストの点数を成績に反映します。				
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
外授業実施	初回の授業でTOEIC Bridge の模擬試験を実施し、実力測定とします。 中間および期末試験は実施しません。随時行うミニテスト結果や課題等の提出物の評価により、成績を決定します。						

科目名	TOEIC I B					学期	後 期		
担当教員	松倉 基晴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	中学～高校までで学習してきた内容のリハビリを行うとともに、アウトプットを重視したスキルアップをはかります。								
授業内容	発音・リズム・イントネーションを中心に音読やロールプレーを多用して発話スキルの向上を目指します。								
学習目標	TOEIC Bridge (180満点) で100点以上のスコアをめざし、また、日本人の苦手とする発音・リズムをマスターします。								
使用テキスト	アメリカ口語教本・初級用(研究社)の他、随時、授業の進行と学生の理解に合わせた教材やプリントを用意します。								
週数	授業計画								
1	Placement Test (TOEIC Bridge 模試) による実力測定とオリエンテーション								
2	Lesson 1 What's New? ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
3	Lesson 2 What's your Major? ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
4	Review and extra activities								
5	Lesson 3: It's Fun to Play Mahjong. ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
6	Lesson 4 A Modern Home. ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
7	Review and extra activities								
8	Lesson 5: Micky's Home Town ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
9	Lesson 6: Two Successful Men ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
10	Review and extra activities								
11	Lesson 7: Hiking ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
12	Lesson 8: Some Interesting Kind of Art ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
13	Review and extra activities								
14	Lesson 9: Two Kinds of Education ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
15	Lesson 10: A Full Scholarship ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	30 %	テキスト中の指定する内容について、暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表)、ロールプレイ をします。						
	2. 授業姿勢	40 %	出席と授業中の積極性を評価します。授業中の積極性としては、自発的な質問、自主的な取り組み姿勢、ミスを恐れない態度などです。						
	3. テスト	30 %	Review ごとに行うミニテストの点数を成績に反映します。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
外授業実施	初回の授業でTOEIC Bridge の模擬試験を実施し、実力測定とします。 中間および期末試験は実施しません。随時行うミニテスト結果や課題等の提出物の評価により、成績を決定します。								

科目名	TOEIC II A					学期	前期		
担当教員	松倉 基晴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	中学～高校までで学習してきた内容のリハビリを行うとともに、アウトプットを重視したスキルアップをはかります。								
授業内容	発音・リズム・イントネーションを中心に音読やロールプレーを多用して発話スキルの向上を目指します。								
学習目標	TOEIC Bridge (180満点) で100点以上のスコアをめざし、また、日本人の苦手とする発音・リズムをマスターします。								
使用テキスト	アメリカ口語教本・入門用(研究社)の他、随時、授業の進行と学生の理解に合わせた教材やプリントを用意します。								
週数	授業計画								
1	Placement Test (TOEIC Bridge 模試) による実力測定とオリエンテーション								
2	Lesson 1 How Do You Do? ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
3	Lesson 2 May I Ask a Question? ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
4	Review and extra activities								
5	Lesson 3: A Spoon and Some Ice Cream. ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
6	Lesson 4: What Did You Do Today? ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
7	Review and extra activities								
8	Lesson 5: What's Your Name? ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
9	Lesson 6: A Look into the Future ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
10	Review and extra activities								
11	Lesson 7: How Have You Been? ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
12	Lesson 8: Going to the Movies ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
13	Review and extra activities								
14	Lesson 9: I Wonder Who Invented Television ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
15	Lesson 10: I Wonder What He Bought ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	30 %	テキスト中の指定する内容について、暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表)、ロールプレイ をします。						
	2. 授業姿勢	40 %	出席と授業中の積極性を評価します。授業中の積極性としては、自発的な質問、自主的な取り組み姿勢、ミスを恐れない態度などです。						
	3. テスト	30 %	Review ごとに行うミニテストの点数を成績に反映します。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
外授業実施	初回の授業でTOEIC Bridge の模擬試験を実施し、実力測定とします。 中間および期末試験は実施しません。随時行うミニテスト結果や課題等の提出物の評価により、成績を決定します。								

科目名	TOEIC II B					学期	後 期		
担当教員	松倉 基晴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	中学～高校までで学習してきた内容のリハビリを行うとともに、アウトプットを重視したスキルアップをはかります。								
授業内容	発音・リズム・イントネーションを中心に音読やロールプレーを多用して発話スキルの向上を目指します。								
学習目標	TOEIC Bridge (180満点) で110点以上のスコアをめざし、また、日本人の苦手とする発音・リズムをマスターします。								
使用テキスト	アメリカ口語教本・初級用(研究社)の他、随時、授業の進行と学生の理解に合わせた教材やプリントを用意します。								
週数	授業計画								
1	Placement Test (TOEIC Bridge 模試) による実力測定とオリエンテーション								
2	Lesson 1 What's New? ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
3	Lesson 2 What's your Major? ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
4	Review and extra activities								
5	Lesson 3: It's Fun to Play Mahjong. ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
6	Lesson 4 A Modern Home. ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
7	Review and extra activities								
8	Lesson 5: Micky's Home Town ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
9	Lesson 6: Two Successful Men ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
10	Review and extra activities								
11	Lesson 7: Hiking ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
12	Lesson 8: Some Interesting Kind of Art ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
13	Review and extra activities								
14	Lesson 9: Two Kinds of Education ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
15	Lesson 10: A Full Scholarship ①発音クリニック、②Phrase Reading を活用した暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表) ③イラストを活用した発話訓練								
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	30 %	テキスト中の指定する内容について、暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表)、ロールプレイ をします。						
	2. 授業姿勢	40 %	出席と授業中の積極性を評価します。授業中の積極性としては、自発的な質問、自主的な取り組み姿勢、ミスを恐れない態度などです。						
	3. テスト	30 %	Review ごとに行うミニテストの点数を成績に反映します。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
外授業実施	初回の授業でTOEIC Bridge の模擬試験を実施し、実力測定とします。中間および期末試験は実施しません。随時行うミニテスト結果や課題等の提出物の評価により、								

科目名	サービス接遇 I A						学期	前 期	
担当教員	高野直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の心構えを学習する								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界に必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する								
使用テキスト	サービス接遇検定受験ガイド3級 サービス接遇検定受験ガイド2級 サービス接遇検定実問題集3級 サービス接遇検定実問題集1-2級								
週数	授業計画								
1	3級学習 サービススタッフの資質①(必要とされる要件ほか)								
2	3級学習 サービススタッフの資質②(従業要件ほか)								
3	3級学習 専門知識①(サービスの知識ほか)								
4	3級学習 専門知識②(従業知識ほか)								
5	3級学習 一般知識(社会常識ほか)								
6	3級学習 対人技能①(人間関係ほか)								
7	3級学習 対人技能②(接遇知識ほか)								
8	3級学習 対人技能③(話し方ほか)								
9	3級学習 対人技能④(服装ほか)								
10	3級学習 実務技能①(問題処理ほか)								
11	3級学習 実務技能②(環境整備ほか)								
12	3級学習 実務技能③(金品管理ほか)								
13	3級学習 実務技能④(社交業務ほか)								
14	2級学習 サービススタッフの資質 前半(必要とされる要件ほか)								
15	2級学習 サービススタッフの資質 後半(従業要件ほか)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30%	演習課題の取り組み姿勢						
	2. 授業姿勢	30%	出席状況・授業態度・言葉遣い						
	3. テストその他	40%	実技試験と期末試験の総合判定						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・そ	サービス接遇検定 6月 検定目標3級合格								

科目名	サービス接遇ⅡA						学期	前期	
担当教員	高野直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の心構えを学習する								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界に必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する								
使用テキスト	サービス接遇検定受験ガイド2級 サービス接遇検定実問題集 1-2級								
週数	授業計画								
1	2級学習 専門知識 ① (サービ知識ほか)								
2	2級学習 専門知識 ② (従業知識ほか)								
3	2級学習 一般知識 (社会常識ほか)								
4	2級学習 対人技能 ① (人間関係ほか)								
5	2級学習 対人技能 ② (接遇知識ほか)								
6	2級学習 対人技能 ③ (話し方ほか)								
7	2級学習 対人技能 ④ (服装ほか)								
8	2級学習 実務技能 ① (問題処理ほか)								
9	2級学習 実務技能 ② (環境整備ほか)								
10	2級学習 実務技能 ③ (金品管理ほか)								
11	2級学習 実務技能 ④ (金品搬送ほか)								
12	2級学習 実務技能 ⑤ (社交業務ほか)								
13	準1級 基本言動 ① (入室ほか)								
14	準1級 基本言動 ② (企業連携)								
15	準1級 基本言動 ③ (企業連携)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	演習課題の取り組み姿勢						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い						
	3. テストその他	40 %	実技試験と期末試験の総合判定						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・そ	サービス接遇検定 11月検定目標1級合格								

科目名	サービス接遇ⅡB						学期	後 期	
担当教員	高野直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の心構えを学習する								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界に必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する								
使用テキスト	サービス接遇検定受験ガイド準1級級 サービス接遇検定受験ガイド1級 サービス接遇検定実問題集1-2級								
週数	授業計画								
1	準1級 接客応答								
2	準1級 接客応答								
3	準1級 接客応答								
4	準1級 接客対応								
5	準1級 接客対応								
6	準1級検定対策総仕上げ								
7	1級 サービススタッフの資質								
8	1級 専門知識 (サービス知識)								
9	1級 専門知識 (従業知識)								
10	1級 一般知識 (社会常識)								
11	1級 対人技能 (人間関係ほか)								
12	1級 対人技能 (接遇知識ほか)								
13	1級 実務技能 ① (問題処理ほか)								
14	1級 実務技能 ④ (金品搬送ほか)								
15	1級検定対策講義								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	演習課題の取り組み姿勢						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い						
	3. テストその他	40 %	実技試験と期末試験の総合判定						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・そ	サービス接遇検定 11月 検定目標 1級合格								

科目名	フラワーアレンジメント I A					学期	前 期
担当教員	井波 裕美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修
単位数	1						
学習目的	婚礼に必要な知識としてブライダルシーンでのフラワーアレンジやブーケの基本テクニックを習得する						
授業内容	フラワーアレンジメントの歴史や基本的な技法を知りブライダルシーンでのアレンジやブーケを製作						
学習目標	様々な花の種類に合ったアレンジができるようになる						
使用テキスト	オリジナルテキスト						
週数	授業計画						
1	ファンデーションワークとミニブーケ (生花)						
2	ファンデーションワークとミニブーケ (生花)						
3	ラウンドアレンジ (生花)						
4	ラウンドアレンジ (生花)						
5	ラウンドアレンジ (プリザ)						
6	ラウンドアレンジ (プリザ)						
7	ワイヤリング&テーピング コサージュ作り (生花)						
8	ワイヤリング&テーピング コサージュ作り (生花)						
9	ラウンド花束・スパイラル (生花)						
10	ラウンド花束・スパイラル (生花)						
11	ギフトアレンジ BOXフラワー (生花)						
12	ギフトアレンジ BOXフラワー (生花)						
13	キャンドルフラワー (生花)						
14	キャンドルフラワー (生花)						
15	パーティーフラワー (生花)						
	評価項目/割合		評価内容				
評価基準	1. 課題	30 %					
	2. 授業姿勢	30 %					
	3. テストその他	40 %					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
目標検 定・課外 授業実施 予定・そ							

科目名	フラワーアレンジメントⅡB					学期	後 期
担当教員	井波 裕美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修
単位数	1						
学習目的	婚礼に必要な知識としてブライダルシーンでのフラワーアレンジやブーケの基本テクニックを習得する						
授業内容	フラワーアレンジメントの歴史や基本的な技法を知りブライダルシーンでのアレンジやブーケを製作						
学習目標	様々な花の種類に合ったアレンジができるようになる						
使用テキスト	オリジナルテキスト						
週数	授業計画						
1	パーティーフラワー（生花）						
2	フラワーアレンジの歴史とブーケの基礎知識						
3	フラワーアレンジの歴史とブーケの基礎知識						
4	ラウンドブーケ（生花）						
5	ラウンドブーケ（生花）						
6	ティアードロップブーケ（生花）						
7	ティアードロップブーケ（生花）						
8	クラッチブーケ（生花）						
9	クラッチブーケ（生花）						
10	バッグブーケ（アーティフィシャル）						
11	バッグブーケ（アーティフィシャル）						
12	装身花 ヘアーアクセサリー（アーティフィシャル）						
13	装身花 ヘアーアクセサリー（アーティフィシャル）						
14	リングピロー（アーティフィシャル）						
15	リングピロー（アーティフィシャル）						
	評価項目/割合		評価内容				
評価基準	1. 課題	30%					
	2. 授業姿勢	30%					
	3. テストその他	40%					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
目標検 定・課外 授業実施 予定・そ							

科目名	ブライダルビューティIB						学期	後 期	
担当教員	宮西 和孝	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	基本的テクニックを身に学習する								
授業内容	道具の使い方について学ぶ								
学習目標	基本的テクニックを実際に体験し理解する								
使用テキスト	必要に応じてプリント配布								
週数	授業計画								
1	オリエンテーション 道具の確認								
2	道具の使い方① アイロン								
3	道具の使い方② ブラシ・ピン・ゴム								
4	基本練習① ポニーテール								
5	基本練習② ポンパドール								
6	基本練習③ 編み込み								
7	基本練習④ 付け毛								
8	スタイル作り① シニヨン								
9	スタイル作り② トップ								
10	スタイル作り③ サイド								
11	スタイル作り④ バック								
12	ブライダルスタイル①								
13	ブライダルスタイル②								
14	ブライダルスタイル③								
15	実技試験								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	課題の提出、出来栄						
	2. 授業姿勢	30 %	忘れ物の状態 受講態度 出席率						
	3. テストその他	30 %	理解度						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実施 予定・そ									

科目名	ブライダルビューティⅡB						学期	後 期	
担当教員	高桑 裕美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	メイクの基礎を学習する								
授業内容	メイクの知識と技術を学ぶ								
学習目標	メイクの楽しさを実感し、メイクの必要性を理解する								
使用テキスト	プリント配布								
週数	授業計画								
1	メイクの基礎知識								
2	顔の造形理論								
3	アイブロウスタイリング								
4	ベースメーキャップ基本								
5	ベースメーキャップ応用								
6	ポイントメーキャップの基本・応用								
7	相モデルでメーキャップ練習① ナチュラル								
8	相モデルでメーキャップ練習② ナチュラル								
9	相モデルでメーキャップ練習③ キュート								
10	相モデルでメーキャップ練習④ キュート								
11	相モデルでメーキャップ練習⑤ クール								
12	相モデルでメーキャップ練習⑥ クール								
13	確認テスト								
14	イメージメイク作り①								
15	イメージメイク作り②								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 30 %								
	2. 授業姿勢 30 %								
	3. テストその 40 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実施 予定・そ									

科目名	プレゼンテーション I A						学期	前 期	
担当教員	南 貴文	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	企画提案をはじめとする伝達能力全般の向上を目的とする。								
授業内容	聞き手分析をもとにした効果的な話方や伝え方、スライドの手法を実演を行いながら学ぶ。								
学習目標	企画提案をはじめとする伝達能力全般の向上を目標とする。								
使用テキスト	30時間でマスター プレゼンテーション+PowerPoint2016 (Windows10対応)								
週数	授業計画								
1	プレゼンテーションとは？								
2	プレゼンテーションの基本 (パワーポイントの基本)								
3	プレゼンテーションの基本 (効果的なプレゼンテーション資料作成 図・グラフ・アニメーション/テキスト)								
4	個人発表課題 ・テーマを考える(時間、目的、聞き手) ・素材を集める(自分の言いたいことを裏付ける、聞き手を引き付ける) ・構成を考える								
5	個人発表課題 パワーポイント制作①								
6	個人発表課題 パワーポイント制作②								
7	2年生の実習報告会① (聴く、考える、質問する)								
8	2年生の実習報告会② (聴く、考える、質問する)								
9	個人発表課題 発表								
10	グループ発表課題 ・テーマを考える(時間、目的、聞き手) ・素材を集める(自分の言いたいことを裏付ける、聞き手を引き付ける) ・構成を考える								
11	グループ発表課題 パワーポイント制作①								
12	グループ発表課題 パワーポイント制作②								
13	グループ発表課題 発表								
14	プレゼンテーションの事例・テンプレート①								
15	プレゼンテーションの事例・テンプレート② まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	・授業内課題の提出 ・宿題課題の提出 (期限までの提出状況)						
	2. 授業姿勢	30 %	・授業への参加状況 (出席や受講態度、忘れ物および積極的な取り組み度)						
	3. テストその他	30 %	・期末試験結果 ・課題の達成度						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実施 予定・そ									

科目名	プレゼンテーションⅡA						学期	前 期	
担当教員	南 貴文	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	企画提案をはじめとする伝達能力全般の向上を目的とする。								
授業内容	聞き手分析をもとにした効果的な話方や伝え方、スライドの手法を実演を行いながら学ぶ。								
学習目標	企画提案をはじめとする伝達能力全般の向上を目標とする。								
使用テキスト	30時間でマスター プレゼンテーション+PowerPoint2016 (Windows10対応)								
週数	授業計画								
1	1、3分間のプレゼンテーション								
2	個人企画提案書制作① ・テーマを考える(時間、目的、聞き手) ・素材を集める(自分の言いたいことを裏付ける、聞き手を引き付ける) ・構成を考える								
3	個人企画提案書制作②								
4	個人企画提案書 発表								
5	グループ発表課題 パワーポイント制作① ・テーマを考える(時間、目的、聞き手) ・素材を集める(自分の言いたいことを裏付ける、聞き手を引き付ける) ・構成を考える								
6	グループ発表課題 パワーポイント制作②								
7	グループ発表課題 発表								
8	グループ企画提案書制作① ・テーマを考える(時間、目的、聞き手) ・素材を集める(自分の言いたいことを裏付ける、聞き手を引き付ける) ・構成を考える								
9	グループ企画提案書制作②								
10	グループ企画提案書制作③								
11	グループ企画提案書 発表								
12	1、3分間のプレゼンテーション								
13	プレゼンテーションの事例・テンプレート①								
14	プレゼンテーションの事例・テンプレート②、まとめ								
15	オリジナルチラシ、DM作成								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	・授業内課題の提出 ・宿題課題の提出(期限までの提出状況)						
	2. 授業姿勢	30 %	・授業への参加状況(出席や受講態度、忘れ物および積極的な取り組み度)						
	3. テストその他	30 %	・期末試験結果 ・課題の達成度						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実施 予定・そ									

科目名	ビジネスIT技術 I A						学期	前 期	
担当教員	南 貴文	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	日本語ワープロソフトの利用を通し、日本語入力 および文書処理能力を身につけるとともに、情報化社会の中でコンピュータ活用能力の向上を図ることを目的とする。								
授業内容	日本語ワープロソフト(Word)の使用方法を習得し、的確な日本語入力 および適切な文書処理能力を身につける。								
学習目標	一定時間内に正確な文書入力を行い、適切なビジネス文書を作成することができる。日本語ワープロ検定3級問題基準をクリアできる。								
使用テキスト	30時間でマスター Word2016								
週数	授業計画								
1	・本授業の目的と目標を知る。□ 学内利用環境を理解し、使用できるようになる。□ パソコンの基本操作ができるようになる。								
2	テキスト 第1章 Windowsの基礎 ・パソコンの基本操作ができるようになる。 第2章 Word入門 ・Wordの基礎、入力の基礎を理解し操作できる。								
3	テキスト 第3章 文書の作成 □ 文書の作成ができるようになる。(入力、複写、移動、削除、保存、印刷設定)								
4	テキスト 第4章 Wordの活用 1 □ 編集機能を使用することができる。								
5	テキスト 第4章 Wordの活用 1 □ テキスト 第5章 Wordの活用 2 □ 編集機能を使用することができる。								
6	テキスト 第5章 Wordの活用 2 □ 編集機能を使用することができる。								
7	テキスト 第5章 Wordの活用 2 □ 編集機能を使用することができる。								
8	総合演習 □ 基本機能、活用機能を使用して文書を作成することができる。								
9	日本語ワープロ検定試験基準 □ 日本語ワープロ検定 3 級問題 (速度問題、文書作成問題) に取り組む。								
10	日本語ワープロ検定試験基準 □ 日本語ワープロ検定 準 2 級問題 (速度問題、文書作成問題) に取り組む。								
11	日本語ワープロ検定試験基準 □ 日本語ワープロ検定 2 級問題 (速度問題、文書作成問題) に取り組む。								
12	日本語ワープロ検定試験基準 □ 日本語ワープロ検定 準 1 級問題 (速度問題、文書作成問題) に取り組む。								
13	日本語ワープロ検定試験基準 □ 日本語ワープロ検定 1 級問題 (速度問題、文書作成問題) に取り組む。								
14	総合演習 □ 10月に受験する受験級を仮決定し、受験級に合わせた問題に取り組む。								
15	総合演習 □ 3級レベルの文書作成ができるか確認する。								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	授業中に取り組む課題 (入力、文書作成の作成物、作成取り組み状況) 宿題課題						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	30 %	確認小テスト結果 期末テスト結果						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	2020年10月、12月に日本語ワープロ検定を受験予定 □ 授業の進捗度、理解度等により、若干授業内容を変更する場合があります。								

科目名	ビジネスIT技術ⅡA						学期	前 期	
担当教員	南 貴文	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	企業においてITを活用する実践的な知識・スキルを学習する。								
授業内容	企業において必須の技術である表計算ソフト、エクセルを用いて実践的な資料を作成する技術を身につける。								
学習目標	エクセルを使用して、データ作成・グラフ作成・簡単な関数を用いた計算ができる。								
使用テキスト	全学科：30時間でマスター Excel2013（Windows8対応） インターナショナルを除く 学科：日商PC検定試験 データ活用 3級 公式テキスト&問題集 Microsoft Excel 2013対応 日商PC検定試験 知識科目 3級 公式試験問題集（文書作成・データ活用・プレゼン資料作成）								
週数	授業計画								
1	第1章Excelの基礎知識								
2	第2章Excel入門								
3	第3章ワークシートの活用（1）								
4	第3章ワークシートの活用（1）								
5	第3章ワークシートの活用（1）								
6	第4章ワークシートの活用（2） セルの絶対参照								
7	第4章ワークシートの活用（2） セルの絶対参照								
8	第4章ワークシートの活用（2） 端数処理								
9	第4章ワークシートの活用（2） 端数処理								
10	第4章ワークシートの活用（2） IF関数								
11	第4章ワークシートの活用（2） IF関数								
12	第5章グラフ（1）								
13	第5章グラフ（2） 複合グラフ								
14	第7章データベース オートフィルタ・並べ替え								
15	第7章データベース オートフィルタ・並べ替え								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	各授業における課題提出（期限厳守）[確認テスト結果]						
	2. 授業姿勢	30 %	授業への積極参加 クラスへの協力度[教科書、パソコンその他忘れ物の有無]						
	3. テストその他	30 %	検定を受験する学科は検定結果[受験しない学科はテスト結果]						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・そ	10月 日商PC検定データ活用3級 受験10月 3級再受験								

科目名	異文化コミュニケーション I A						学期	前 期	
担当教員	松島 綾子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	インバウンドに必要なコミュニケーション能力の向上と異文化の理解を目的とする								
授業内容	インターナショナルビジネス学科との合同の時間を取り入れ、グループディスカッションを通し、多様な文化の理解やコミュニケーション方法を学ぶ。								
学習目標	異文化コミュニケーションの基礎知識を理解し、言語や文化の異なる人々とコミュニケーションが図れるようになる								
使用テキスト	プリント								
週数	授業計画								
1	オリエンテーション異文化コミュニケーションとは何だろうかを通してコミュニケーションや異文化理解について学ぶ								
2	コミュニケーション・スタイルの言語について映画やアジア映画の吹き替えと原語の違いを比較								
3	他国の言語と文化について学ぶ①インターナショナルビジネス学科の学生の出身国の言語を調べる								
4	他国の言語と文化について学ぶ②インターナショナルビジネス学科の学生の出身国の言語を調べる								
5	異文化シミュレーション①バーンガ、パファパファのゲームを通し、異文化トレーニングを行う								
6	異文化シミュレーション②コトノス、アルバトロスのシミュレーションを通し、異文化トレーニングを行う								
7	言語コミュニケーション、非言語コミュニケーション それぞれの国の褒め方、叱り方、謝り方、アイコンタクト、ジェスチャーについてグループディスカッション								
8	他国の文化理解①インターナショナルビジネス学科の学生の出身国について調べ、まとめる(質問を考える)								
9	他国の文化理解②インターナショナルビジネス学科の学生の出身国について調べ、まとめる(質問を考える)								
10	他国の文化理解(インターナショナルビジネス学科と合同) 調べた内容をその国の学生に伝える。質疑応答。 それぞれの国の食文化について学ぶ								
11	それぞれの国の食文化について実習の準備、食事の作り方の発表								
12	それぞれの国の食文化についてそれぞれの国の食事をつくる(実習)								
13	それぞれの国の食文化について実習の振り返り、次回のグループの発表								
14	それぞれの国の食文化についてそれぞれの国の食事をつくる(実習)								
15	それぞれの国の食文化について実習の振り返り、まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30%	授業内の課題の取組み						
	2. 授業姿勢	30%	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	40%	発表内容、総括記録、各自実施レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実施 予定・そ									

科目名	観光マーケティング I A						学期	前 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	外国人旅行者の一人ひとりにあつた的確な対応と提案から「顧客創造」を実現できる人材の育成を目的とする								
授業内容	ワークを通して観光マーケティングの意味や種類、考え方を学ぶ								
学習目標	マーケティングに関する用語や概念を身に付け、新たな観光プランの創出を行う								
使用テキスト	オリジナルテキスト								
週数	授業計画								
1	マーケティングとは活動の種類や効果について								
2	観光業におけるマーケティングとは何か								
3	観光業におけるSWOT分析								
4	観光業におけるSWOT分析								
5	観光業におけるSWOT分析								
6	観光業におけるSTPマーケティング								
7	観光業における4P(観光地や観光コース、イベント)								
8	観光業における4C(観光地や観光コース、イベント)								
9	観光業をマーケティングの理論に基づき分析								
10	外国人観光客について主要国の国の特徴や観光動向について(食文化、生活習慣、言語、国民性、経済、宗教)								
11	外国人観光客について主要国の国の特徴や観光動向について(食文化、生活習慣、言語、国民性、経済、宗教)								
12	富山県を訪れる外国人に好まれる観光プラン作成								
13	イノベーションとは								
14	インバウンド対策を考えた観光プランの作成とコース分析								
15	観光プランのプレゼンテーション								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30%	授業内の課題の取組み						
	2. 授業姿勢	30%	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	40%	発表内容、総括記録、各自実施レポート						
目標検 定・課外 授業実施 予定・そ	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								

科目名	観光マーケティングⅡA					学期	前期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修
						単位数	2
学習目的	外国人旅行者の一人ひとりにあっただ確な対応と提案から「顧客創造」を実現できる人材の育成を目的とする						
授業内容	観光マーケティングⅠAで学んだことをカナダでの実体験での気づきと照らし合わせてプレゼンテーションを作成していく						
学習目標	新たな観光プランを英語でプレゼンテーションする						
使用テキスト	オリジナルテキスト						
週数	授業計画				事前・事後の学習		
1	富山県の観光地の再体験	【事前】	1年次に体験した観光地を確認				
		【事後】					
2	富山県の観光地の再体験	【事前】	1年次に体験した観光地を確認				
		【事後】					
3	富山県とバンクーバーの違いについて (客層・STP・4P・4C)	【事前】	カナダのレポートとマーケティング復習				
		【事後】	客層・STP・4P・4Cの再分析				
4	富山県とバンクーバーの違いについて (商品アイデア・方法)	【事前】	カナダのレポートとマーケティング復習				
		【事後】	商品アイデア・方法の再分析				
5	富山県とバンクーバーの違いについて (食・生活週間・言語・国民性・経済・宗教)	【事前】	カナダのレポートとマーケティング復習				
		【事後】	食・生活週間・言語・国民性・経済・宗教の再分析				
6	富山県とバンクーバーの違いについて (歴史・特産品・伝統・行事・宿泊施設・SNS活用)	【事前】	カナダのレポートとマーケティング復習				
		【事後】	歴史・特産品・伝統・行事・宿泊施設・SNS活用の再分析				
7	富山県とバンクーバーの違いについて ビジネスモデル(商流・キーマン)	【事前】	カナダのレポートとマーケティング復習				
		【事後】	ビジネスモデルの再分析				
8	富山県の観光に関する課題と分析	【事前】	カナダの振り返り				
		【事後】					
9	1年前期に作成した観光プランの再構築	【事前】					
		【事後】					
10	SWOT分析チェック	【事前】	SWOT分析の再確認ち追記				
		【事後】					
11	商品・サービス差別化	【事前】					
		【事後】					
12	観光プランを英語でプレゼンテーション	【事前】	プレゼンテーションのポイント整理				
		【事後】					
13	観光プランを英語でプレゼンテーション	【事前】	プレゼンテーション完成				
		【事後】					
14	プレゼンテーション発表	【事前】					
		【事後】					
15	プレゼンテーション振り返り	【事前】					
		【事後】					
	評価項目/割合	評価内容					
評価基準	1. 課題 20%	授業内の課題の取組み					
	2. 授業姿勢 30%	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。					
	3. テストその他 50%	発表内容、総括記録、各自実施レポート					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
目標検定・課外授業実施予定・その他							

科目名	富山学 I A						学期	前 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	外国人旅行者の一人ひとりにあつた的確な対応と提案から「顧客創造」を実現できる人材の育成を目的とする								
授業内容	フィールドワークと分析を繰り返し、知識の定着を図る								
学習目標	富山県の観光地を歴史や特産品、伝統行事などを説明できるようになる								
使用テキスト	オリジナルテキスト								
週数	授業計画								
1	富山県の歴史（社会）								
2	富山県の歴史（政治）								
3	富山県の歴史（経済）								
4	富山県の歴史（文化）								
5	富山県の歴史（産業・人口）								
6	富山県の特産品								
7	富山県伝統行事								
8	観光データ観光入込数やインバウンド数など他県との違いについて								
9	富山県の宿泊施設（ホテル・旅館・民宿）								
10	富山県の宿泊施設（ホテル・旅館・民宿）の課題と解決策								
11	富山県観光業のSNS活用状況について								
12	富山県の主な観光地や観光モデルコースについて								
13	富山県の主な観光地や観光モデルコースについて								
14	富山県の主な観光地や観光モデルコースについて								
15	独自の観光モデルコースを提案								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30%	授業内の課題の取組み						
	2. 授業姿勢	30%	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	40%	発表内容、総括記録、各自実施レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実施 予定・そ									

科目名	色彩 I A					学期	前 期
担当教員	畠山 博子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修
単位数	1						
学習目的	基本的な色彩理論を学習する						
授業内容	求められるカラーコーディネートとはどういうものを学ぶ						
学習目標	色彩とは何か、応用的な理解ができ、実践に活かせる力をつける						
使用テキスト	色彩検定 3 級テキスト、色彩検定 3 級問題集、色彩検定過去問題集						
週数	授業計画						
1	自己紹介、カラーカードを貼る						
2	自己紹介、カラーカードを貼る						
3	カラーカードを貼る						
4	カラーカードを貼る						
5	カラーカードを貼る						
6	色のはたらき						
7	色のはたらき						
8	光と色						
9	光と色						
10	光と色						
11	光と色						
12	眼のしくみ						
13	眼のしくみ						
14	眼のしくみ						
15	眼のしくみ						
	評価項目/割合		評価内容				
評価基準	1. 課題	50 %	レポート、小テスト結果等を評価する				
	2. 授業姿勢	30 %	授業規律、受講態度、積極性、質問応答等を評価する				
	3. テストその他	20 %	期末テスト結果を評価する				
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
目標検定・課外授業実施予定・その他	AFT色彩検定 3 級進捗状況により変更する場合があります。						

科目名	色彩 I B						学期	後 期	
担当教員	畠山 博子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	基本的な色彩理論を学習する								
授業内容	求められるカラーコーディネートとはどういうものを学ぶ								
学習目標	色彩とは何か、応用的な理解ができ、実践に活かせる力をつける								
使用テキスト	色彩検定 3 級テキスト、色彩検定3級問題集、色彩検定過去問題集								
週数	授業計画								
1	混色								
2	混色								
3	混色								
4	混色								
5	色の三属性								
6	色の三属性								
7	色の三属性								
8	色の三属性								
9	PCCSの理解と色彩調和								
10	PCCSの理解と色彩調和								
11	PCCSの理解と色彩調和								
12	PCCSの理解と色彩調和								
13	PCCSの理解と色彩調和								
14	PCCSの理解と色彩調和								
15	PCCSの理解と色彩調和								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	レポート、小テスト結果等を評価する						
	2. 授業姿勢	30 %	授業規律、受講態度、積極性、質問応答等を評価する						
	3. テストその他	20 %	期末テスト結果を評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・そ	AFT色彩検定 3 級進捗状況により変更する場合があります。								

科目名	色彩ⅡA					学期	後 期		
担当教員	畠山 博子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	色彩検定3級合格を目指して、色彩の基本を学習する。								
授業内容	求められるカラーコーディネートとはどういうものを学ぶ								
学習目標	色彩検色彩とは何か、応用的な理解ができ、実戦に活かせる力をつける								
使用テキスト	色彩検定3級テキスト、色彩検定3級問題集、色彩検定過去問題集								
週数	授業計画								
1	前期の復習								
2	前期の復習								
3	色彩心理								
4	色彩心理								
5	色彩心理								
6	配色イメージ								
7	配色イメージ								
8	ファッションと色彩								
9	ファッションと色彩								
10	ファッションと色彩								
11	ファッションと色彩								
12	インテリアと色彩								
13	インテリアと色彩								
14	インテリアと色彩								
15	インテリアと色彩								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	レポート、小テスト結果等を評価する						
	2. 授業姿勢	30 %	授業規律、受講態度、積極性、質問応答等を評価する						
	3. テストその他	20 %	期末テスト結果を評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	AFT色彩検定3級 進行状況により変更する場合があります。								

科目名	色彩ⅡB					学期	後 期		
担当教員	畠山 博子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	色彩検定3級合格を目指して、色彩の基本を学習する。								
授業内容	求められるカラーコーディネートとはどういうものを学ぶ								
学習目標	色彩検色彩とは何か、応用的な理解ができ、実戦に活かせる力をつける								
使用テキスト	色彩検定3級テキスト、色彩検定3級問題集、色彩検定過去問題集								
週数	授業計画								
1	慣用色名								
2	慣用色名								
3	検定に向けての学習								
4	検定に向けての学習								
5	検定に向けての学習								
6	検定に向けての学習								
7	検定に向けての学習								
8	検定に向けての学習								
9	検定に向けての学習								
10	検定に向けての学習								
11	検定に向けての学習								
12	パーソナルカラーの基礎								
13	パーソナルカラーの基礎								
14	パーソナルカラーの基礎								
15	パーソナルカラーの基礎								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	レポート、小テスト結果等を評価する						
	2. 授業姿勢	30 %	授業規律、受講態度、積極性、質問応答等を評価する						
	3. テストその	20 %	期末テスト結果を評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・そ	AFT色彩検定3級 進行状況により変更する場合があります。								

科目名	ウエディングスビューティフル I A						学期	前期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	2
関係実務等	平成9年～26年公立学校共済組合バレプラン高志会館 業務課(テーブルマナー講師・宴会レストランサービス・婚礼チーフ)・営業課(ブライダルプランナー・フロント業務・宿泊販売・営業・企画運営)にて勤務								
授業内容	ウエディング業界で働くために必要なメンタルパワーや婚礼の歴史、慣習を学ぶ								
学習目的	ウエディング業界で必要な婚礼の専門知識と心得を学習する								
学習目標	ウエディングの現場に必要な専門知識やマナーを理解する								
使用テキスト	ウエディングスビューティフルAコース～Dコース								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	第1章 ビジネスプランの展開 挙式	【事前】							
		【事後】							
2	第2章 ビジネスプランの展開 挙式	【事前】							
		【事後】							
3	第2章 メンタルパワー 目標設定の大切さ	【事前】	自分自身の目標						
		【事後】	目標の再設定						
4	第2章 メンタルパワー 成功の可能性を広げる	【事前】							
		【事後】							
5	第3章 結婚式の専門的知識 プランナーの役割	【事前】	結婚式におけるプランナーの役割						
		【事後】							
6	第3章 結婚式の専門的知識	【事前】							
		【事後】							
7	第4章 コミュニケーションスキルの向上	【事前】							
		【事後】							
8	第4章 効果的な話し方	【事前】							
		【事後】							
9	第5章 結婚式の慣習	【事前】	伝統的な結婚式						
		【事後】							
10	第5章 まとめ レポート	【事前】							
		【事後】							
11	第6章 本当の自分 自己分析 肯定的な性質と否定的な性質	【事前】							
		【事後】							
12	第6章 本当の自分 自己分析 他者から見た自分	【事前】							
		【事後】							
13	第7章 テーブルトップとテーブルウェア	【事前】	テーブルコーディネート						
		【事後】							
14	第8章 テーブルトップとテーブルウェア	【事前】							
		【事後】							
15	まとめ	【事前】	小テスト						
		【事後】	前期期末試験						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 50 %	まとめ レポート 課題							
	2. 授業姿勢 30 %	出席状況・授業態度・言葉づかい							
	3. テストその他 20 %	理解度確認テスト							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	WBW認定ウエディングスペシャリストディプロマ								

科目名	ウエディングスビューティフルⅠB						学期	後 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	2
関係実務等	平成9年～26年公立学校共済組合バレプラン高志会館 業務課(テーブルマナー講師・宴会レストランサービス・婚礼チーフ)・営業課(ブライダルプランナー・フロント業務・宿泊販売・営業・企画運営)にて勤務								
授業内容	ウエディング業界で働くために必要なメンタルパワーや婚礼の歴史、慣習を学ぶ								
学習目的	ウエディング業界で必要な婚礼の専門知識と心得を学習する								
学習目標	ウエディングの現場に必要な専門知識やマナーを理解する								
使用テキスト	ウエディングスビューティフルAコース～Dコース								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	8章 挙式	【事前】	挙式とは						
		【事後】							
2	8章 挙式	【事前】	挙式の種類						
		【事後】							
3	9章 結婚式の演出	【事前】	結婚式の演出						
		【事後】							
4	10章 結婚式の演出	【事前】	結婚式の演出						
		【事後】	オリジナル挙式						
5	10章 結婚式の伝統や慣習	【事前】	地域ごとの伝統や慣習						
		【事後】							
6	11章 結婚式の伝統や慣習	【事前】	地域ごとの伝統や慣習						
		【事後】	伝統や慣習のまとめ						
7	11章 マネジメントスキルの向上	【事前】	マネジメントについて						
		【事後】							
8	12章 マネジメントスキルの向上	【事前】	マネジメントについて						
		【事後】							
9	12章 ビジネスフォーム	【事前】	ビジネスフォーム(発注書)						
		【事後】							
10	13章 ウエディングファッション	【事前】	ドレスの形や歴史						
		【事後】							
11	14章 ウエディングファッション	【事前】	ドレスの形や歴史						
		【事後】	ドレスやブーケの提案						
12	14章 披露宴	【事前】	披露宴の種類						
		【事後】							
13	15章 披露宴	【事前】	披露宴の種類						
		【事後】							
14	15章 招待状	【事前】	招待状のマナー						
		【事後】							
15	まとめ	【事前】	小テスト						
		【事後】	前期期末試験						
		評価項目/割合			評価内容				
評価基準	1. 課題	50 %	まとめ レポート 課題						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉づかい						
	3. テストその他	20 %	理解度確認テスト						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	WBW認定ウエディングスペシャリストディプロマ								

科目名	NIB I A						学期	前期	
担当教員	長谷川 万葉 木村 聡 黒田 哲也	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	メディアに対する知識理解を深め、情報を読み取る力を高める。地域社会の課題を学ぶとともに、読解力、思考力、プレゼンテーション能力、グループ討議力や社会性、創造性、国際性を身につける。								
授業内容	新聞記事からテーマを抽出し、書かれている内容をもとに自分の考えを深め、文章にまとめて発表する								
学習目標	自分の考えを整理し、わかりやすく伝えることができる。言葉や文章で簡潔に要点を伝えることができる。資料を調べたり人の意見を聞いたりし、問題発見、解決ができる。								
使用テキスト	新聞を教材として使用								
週数	授業計画								
1	メディア論①メディアの特性を学び活用する								
2	メディア論②新聞の読み方。グループスクラップ								
3	メディア論③文章の要約、見出し付けで読解力アップ								
4	メディア論④文章力アップ、小論文の書き方								
5	ご当地検定に挑戦								
6	地域の課題を学び 意見交換、発表①								
7	地域の課題を学び 意見交換、発表②								
8	地域の課題を学び 意見交換、発表③								
9	地域の課題を学び 意見交換、発表④								
10	ミニ新聞を作ろう								
11	18歳選挙権を考える								
12	若者の投票率を考える								
13	1分間スピーチ、ミニディベート								
14	グループディスカッション								
15	グループ単位によるプレゼンテーション								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	提出物						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率・積極的なコミュニケーションが出来る。						
	3. テストその他	40 %	発表						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	NIB II A						学期	前期	
担当教員	長谷川 万葉	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	新聞を通し、地域の知識を学ぶとともに、読解力、思考力、プレゼンテーション能力、グループ討議力や社会性、創造性、国際性を身につける。								
授業内容	新聞記事よりテーマを抽出し、書かれている内容と自分の考えとあわせ、文章を作成し、発表する								
学習目標	自分の考えを整理し、わかりやすく伝えることができる。言葉や文章で簡潔に要点を伝えることができる。資料を調べたり人の意見を聞いたりし、問題発見、解決ができる。								
使用テキスト	新聞を教材として使用								
週数	授業計画								
1	メディア論 ① 読解力								
2	メディア論 ② コミュニケーション力								
3	メディア論 ③ プレゼンテーションの仕方、文章の書き方								
4	地域の課題解決策を考える①								
5	地域の課題解決策を考える②								
6	地域の課題解決策を考える③								
7	地域の課題解決策を考える④								
8	地域の課題解決策を考える⑤								
9	グループディスカッション								
10	グループディスカッション								
11	グループディスカッション								
12	グループディスカッション								
13	プレゼンテーション								
14	プレゼンテーション								
15	プレゼンテーション								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	提出物						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率・積極的なコミュニケーションが出来る。						
	3. テストその他	40 %	発表						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	表現力 I A						学期	後 期	
担当教員	長谷川万葉	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	学習を通して、相手に伝わる表現力を養う。人前で堂々と発表できるようになる。								
授業内容	歌唱、ダンス(コンテンポラリーダンス、シアターダンス)、演劇といった様々な表現を楽しく学ぶ。ストレッチ、呼吸、滑舌、発声等、基								
学習目標	学習を通して、明るい表情、相手に伝わる声、正しい姿勢、開かれた心など、接客やビジネスにもつながる健やかな心と体をつくる。他者との関わりの中でコミュニケーション能力を高める。自由な発想力や表現力、人前で堂々と発表できるような素地をつくる。								
使用テキスト	楽譜、オリジナルテキスト等(授業内容に合わせて、適宜配布。)								
週数	授業計画								
1	平田オリザ先生授業(前期7月頃:表現力 I Aのコマ内で行なう。)								
2	イントロダクション～自己紹介、授業内容の説明。シアターゲーム等。								
3	ダンス①～身体表現のひとつであり、既成のスタイルやテクニックのないコンテンポラリーダンスを学ぶ。言葉のいらぬ表現の世界を体験する。								
4	ダンス②～身体表現のひとつであり、既成のスタイルやテクニックのないコンテンポラリーダンスを学ぶ。言葉のいらぬ表現の世界を体験する。								
5	ソング①～ストレッチ、呼吸、滑舌、発声、歌唱を学ぶ。音楽表現を楽しむ。								
6	ソング②～ストレッチ、呼吸、滑舌、発声、歌唱を学ぶ。音楽表現を楽しむ。								
7	ソング③～ストレッチ、呼吸、滑舌、発声、歌唱を学ぶ。音楽表現を楽しむ。								
8	演劇①～台詞・演技・朗読等を通して演劇に親しみ、相手に伝わる表現を学ぶ。								
9	演劇②～台詞・演技・朗読等を通して演劇に親しみ、相手に伝わる表現を学ぶ。								
10	中間発表～歌・台詞・演技・朗読等を発表する。								
11	創作①～演劇やミュージカルのワンシーンを実際に演じてみる。								
12	創作②～演劇やミュージカルのワンシーンを実際に演じてみる。								
13	創作③～演劇やミュージカルのワンシーンを実際に演じてみる。								
14	創作④～演劇やミュージカルのワンシーンを実際に演じてみる。								
15	創作⑤～演劇やミュージカルのワンシーンを実際に演じてみる。								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	レポートの提出状況、実技課題への取り組み方						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻 ②挨拶・受講態度 ③前向きに挑戦する姿勢 ④授業への積極的、協力的な参加 ⑤忘れ物がないか以上の観点から評価する。						
	3. テストその他	30 %	成果発表、実技テスト等。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合あり。								

科目名	表現力ⅡA						学期	後 期	
担当教員	長谷川 万葉	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	学習を通して、相手に伝わる表現力を養う。人前で堂々と発表できるようになる。								
授業内容	歌唱、ダンス(コンテンポラリーダンス、シアターダンス)、演劇といった様々な表現を楽しく学ぶ。ストレッチ、呼吸、滑舌、発声等、基								
学習目標	学習を通して、明るい表情、正しい姿勢、相手に伝わる声、開かれた心など、接客やビジネスにもつながる健やかな心と体をつくる。他者との関わりの中でコミュニケーション能力を高める。自由な発想力や表現力、人前で堂々と発表できるような素地をつくる。								
使用テキスト	楽譜、オリジナルテキスト等(授業内容に合わせて、適宜配布。)								
週数	授業計画								
1	イントロダクション～自己紹介、授業内容の説明。シアターゲーム等。								
2	ダンス①～身体表現のひとつであり、既成のスタイルやテクニックのないコンテンポラリーダンスを学ぶ。言葉のいらぬ表現の世界を体験する。								
3	ダンス②～身体表現のひとつであり、既成のスタイルやテクニックのないコンテンポラリーダンスを学ぶ。言葉のいらぬ表現の世界を体験する。								
4	ソング①～ストレッチ、呼吸、滑舌、発声、歌唱を学ぶ。音楽表現を楽しむ。								
5	ソング②～ストレッチ、呼吸、滑舌、発声、歌唱を学ぶ。音楽表現を楽しむ。								
6	ソング③～ストレッチ、呼吸、滑舌、発声、歌唱を学ぶ。音楽表現を楽しむ。								
7	演劇①～台詞・演技・朗読等を通して演劇に親しみ、相手に伝わる表現を学ぶ。								
8	演劇②～台詞・演技・朗読等を通して演劇に親しみ、相手に伝わる表現を学ぶ。								
9	中間発表～歌・台詞・朗読等を発表する。								
10	創作①～演劇やミュージカルのワンシーンを実際に演じてみる。								
11	創作②～演劇やミュージカルのワンシーンを実際に演じてみる。								
12	創作③～演劇やミュージカルのワンシーンを実際に演じてみる。								
13	創作④～演劇やミュージカルのワンシーンを実際に演じてみる。								
14	創作⑤～演劇やミュージカルのワンシーンを実際に演じてみる。								
15	まとめ								
	評価項目/割合			評 価 内 容					
評価基準	1. 課 題	40 %	レポートの提出状況、実技課題への取り組み方						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻 ②挨拶・受講態度 ③前向きに挑戦する姿勢 ④授業への積極的、協力的な参加 ⑤忘れ物がないか以上の観点から評価する。						
	3. テストその他	30 %	成果発表、実技テスト等。						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検 定・課外 授業実施 予定・そ の他	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合あり。								

科目名	インターンシップ I B						学期	後 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	必修	単位数	10
学習目的	外国人旅行者の一人ひとりにあつた的確な対応と提案から「顧客創造」を実現できる人材の育成を目的とする								
授業内容	カナダでのワーキングホリデーと観光を通して課題を進める								
学習目標	富山県とカナダの観光地を体験、考察し新たな観光プランを創出する								
使用テキスト	オリジナルテキスト（ワーキングホリデープログラム）								
週数	授業計画								
1	ワーキングホリデー								
2	ワーキングホリデー								
3	ワーキングホリデー								
4	ワーキングホリデー								
5	ワーキングホリデー								
6	ビジネスモデルとは□ろいろな業界のビジネスモデルについて□								
7	観光業の商品（サービス）の構成								
8	売上・経費・利益の仕組み□								
9	利用者の分析□利用者の属性）								
10	観光スポット体験								
11	観光スポット体験								
12	アクティビティ体験								
13	アクティビティ体験								
14	カナダの観光スポットやアクティビティの分析								
15	カナダの観光スポットやアクティビティの分析								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 70 %			授業内の課題の取組み					
	2. 授業姿勢 30 %			言葉づかい、態度、マナー					
	3. テストその 0 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実施 予定・そ									

科目名	インターンシップ I B						学期	後 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	必修	単位数	4
学習目的	授業で学んだホテルの知識を確認することを目的に現場で実践躬行することを目的とする。								
授業内容	現場の雰囲気、仕事内容を体験し、ホテル・ブライダル業界の実態について学習する。								
学習目標	授業で学んだ知識を活かし、また机上の学習とのギャップを理解する。								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる(毎週金曜日)								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 70 %			実習先からの評価を元に算出					
	2. 授業姿勢 30 %			出席率等から算出					
	3. テストその 0 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実施 予定・そ									

科目名	インターンシップⅡA						学期	前期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	必修	単位数	4
学習目的	授業で学んだホテルの知識を確認することを目的に現場で実践躬行することを目的とする。								
授業内容	現場の雰囲気、仕事内容を体験し、ホテル・ブライダル業界の実態について学習する。								
学習目標	授業で学んだ知識を活かし、また机上の学習とのギャップを理解する。								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる(2~3月実施)								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 70 %			実習先からの評価を元に算出					
	2. 授業姿勢 30 %			出席率等から算出					
	3. テストその 0 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実施 予定・そ									